

「第 12 回 西宮市都市交通会議」会議録

日 時：平成 30 年 3 月 26 日(月) 10：00～11：30

場 所：西宮市職員会館 3階 大ホール

議 題：

1. 開会

2. 議事

議案第 1 号 平成 30 年度西宮市都市交通会議の事業計画及び当初予算について

報告第 1 号 西宮市総合交通戦略の進捗について

報告第 2 号 平成 29 年度さくらやまなみバス事業について

報告第 3 号 さくらやまなみバス運行計画の一部変更について

3. 閉会

○委員出席者

役職名	氏名	所属名	代理出席者
会長	松永 博	西宮市長職務代理者 西宮市副市長	都市局長 青山 弘
議長	土井 勉	大阪大学 CO デザインセンター 特任教授 一般社団法人システム科学研究所 上級研究員	
副議長	松村 暢彦	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授	
監事	森下 真	公募委員	
監事	永井 正志	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）	
委員	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	
	楠田 悦子	モビリティコンサルタント ジャーナリスト	
	早川 泰正	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 企画課 担当課長	課員 浅井 航
	奥野 雅弘	阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 都市交通計画部 部長	
	原田 大	阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 工務部 部長	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部 部長	
	野口 一行	阪神バス株式会社 取締役 業務部 部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	運行管理部 小平 達也
	原田 寛治	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	
	行徳 光正	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課 課長	
	植松 浩嗣	西宮市 土木局 道路公園部 部長	
	森田 高敏	兵庫県西宮警察署 交通第一課 課長	交通規制係 係長 春口 憲司
	吉本 道明	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	運輸企画専門官 大谷 健太郎
	登日 幸治	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 課長	
	上野 敏明	兵庫県 県土整備部 土木局 道路街路課 街路担当参事	職員 松田 逸生
	豆成 一郎	西宮市 都市局 都市計画部 部長	
	中本 青子	公募委員	欠席
	中澤 秀明	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	欠席
	森田 啓司	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 計画課 課長	欠席
安江 亮	国土交通省 近畿運輸局 交通政策部 交通企画課 課長	欠席	
太田 裕之	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課 課長	欠席	

議事内容

(1) 報告事項

・報告第1号 西宮市総合交通戦略の進捗について

事務局より西宮市総合交通戦略の進捗について説明。

(委員) 西宮市の高齢者交通助成 IC カードにチャージして利用でき、利便性が高いと思います。しかし、IC カードは交通機関での利用のみならず、物品の購入にも利用できる大変便利なカードです。また、このカード利用は高齢者の方に限らず、このカードを持つ全ての方が活用できるという大変便利なものです。この事業の目的は、高齢者の方々に外出を通じてより活発な社会参加を図って、健康の保持増進に寄与することと理解しています。そういった目的からすると実態は少し外れているところもあるように感じます。この事業に関する課題ということで指摘をさせていただきたいと思います。

バス、タクシー、トラックという業界においては慢性的な運転手不足というのが全国的な問題となっています。また、鉄道においては、ホームドアやエレベーター、エスカレーターの設置において、設置費用は一定の補助があるが、維持管理費用は事業者の負担で、経営にも大きな影響を与えています。運賃改定ということで加算するわけにも容易にいかない実態があり、運転手不足に資する対策やバリアフリーに係わる費用に対する施策といった観点も今後、検討される際には判断材料の1つにさせていただければと思います。

(事務局) 高齢者交通助成制度は、70歳以上の市民を対象に福祉部局が福祉施策として実施している事業です。福祉部局からも、移動目的以外でも使われていたりという指摘は十分認識もしており、課題解決していかないといけないという認識は持っておるようですが、今のところは抜本的な解決には至ってないようです。今回いただいた意見については、福祉部局とも情報共有して、今後の解決策の検討に活用させていただきたいと思います。

(議長) 運転手不足は、多分一番簡単な答えは待遇をかなり上げるということでしょうか、そうすると運賃を上げる必要があり、運賃を上げて市民の人が納得すればいいと思いますが、なかなかそういうふうになっていないということかもしれません。どれくらいの費用がかかるのかを知ってもらうということも、大事なこともかもしれません。

(委員) モビリティマネジメントの実施について、どのような落としどころを考えていますか。今後、浜甲子園団地の建替えが進み、住民が増えていきますが、モビリティマネジメントを実施する予定はありますか。

(事務局) 鳴尾浜につきましては、移動手段がバスか自家用車に限定されております。まずは公共交通機関を使っていただいて、環境負荷低減と公共交通の維持確保につなげていくことを目標にしているところです。本市においてのモビリティマネジメントは、鳴尾浜が初めてです。今後、広げていきたいと思っておりますが、これは継続してやっていって定着していただくというものになりますので、まずは公共交通に乗っていただく意識から、考えて

いただけたらと思っております。

2つ目の浜甲子園団地についての指摘ですが、今のところ浜甲子園団地へ具体的に入る検討まで至っておりませんが、鳴尾浜地域でやらせていただいたモビリティマネジメントの知識を積み重ねて、広げていけたらと考えているところです。

(委員) 着実に動いているなという感じがしました。今回のような形の報告ですと、個別施策に集中しやすい感じがしますので、全体の目標やスケジュール、何に向かって行っているのかが一覧で見える形で、そして個別施策がどのように関係して動いているのかが、わかりやすいようにまとめてあると把握しやすいかなと思います。

(事務局) 工夫して、わかりやすい方法を考えたいと思います。

(副議長) 鳴尾浜の協議会はどのような方々が入られているんですか。

(事務局) 鳴尾浜連絡会という会を企業地の方が作られています。鳴尾浜全体で約100社のうち約90社が加盟されている協議会となっております。

(委員) バスの交通専門ということではないんですね。

(事務局) そういう専門ではございません。

(副議長) 国交省のエコ通勤の委員にも入ってまして、エコ通勤の立て直しを図ろうというので、ちょうど今年度話をしているところです。この取り組みなどを登録していただくのはもちろんのこと、大臣表彰を狙ってほしいと思います。地域を総合的に捉えられて、公共交通への改善策を考えられているというのは、結構おもしろいと思うので、地域の住民の方も入っていただけるといいと思います。地域全体の取り組みとして、エコ通勤の軸として、公共交通の改善と促進を図っていくというような非常に美しい絵が描かれそうな気がするので、そのあたりうまく取り組みを広げられた方がいいのではないかと思います。

転入者のモビリティマネジメントも始められたんですね。

(事務局) この鳴尾浜は企業地になっておりまして、住居地はございません。転入者への公共交通情報の提供ということで、「えきバスまっぷ。」を、平成29年度から配布の部数を拡充させていただいて、市役所の本庁舎だけでなく、支所など皆さんに情報を知っていただくための取り組みを広げたというものになっております。今のところは、転入者に対して、「えきバスまっぷ。」を直接お渡しすることはできていない状態です。

(副議長) 一般住民の方が、一旦車を使う習慣になると、そこから公共交通へ転換することは非常に難しいので、できたら転勤される方や転入者に情報提供してはいかがでしょうか。前置きに公共交通は環境に優しいという決まり文句だけじゃなく、西宮市では交通の利便性が重視されて、関西ナンバー1のまちになってますというような、ローカルな情報を最初のアイ

キャッチのところにもってきた方が読んでみようかなというように思われます。マップをどう使うのかということをお考えいただいたほうがおもしろいと思います。

(事務局) 転入者につきまして、「えきバスまっぷ。」は、有効活用できると思いますので、情報提供の方法について研究したいと思います。

(議長) 「阪神地域えきバスまっぷ。」は阪神都市圏公共交通利用促進会議で毎年改訂してまして、情報の更新が最近滞ってるところがあります。交通事業者の方や行政の方も最新の情報をきちんとお伝えくださると、よりいいものができ上がりますので、御協力よろしく願いいたします。

(委員) 会議に出てきたら、市の取り組みがよくわかりますが、一般の方は、交通行政の取り組みについて、普段はほとんどお聞きする場がないです。住民にとって手がかりになるような情報を、市政ニュースの中で、提供していただくことは大事じゃないのかなと思います。

(委員) 鳴尾浜は、企業もまだ増えてきつつありまして、従業員も増えていらっしゃる場所もあると聞いておりますので、非常に役立ってるかなと感じております。新たに通勤される方も、マップなどを利用されたら非常にありがたいと思っております。あと、アンケート結果を参考にしながら、事業計画を検討していきたいと思っております。道路の形状、JR甲子園口の形状も良くしていただきましたので、新たな形の部分計画に向かっていくべき案件と思っております。ただ、昨今の状況では運転手が少なく、非常に死活問題になっております。需要にいかに対応していけるかが、当社のみならずバス業界全体の大きな課題と思っております。1つのところを拡充するとどこか1つが犠牲になる部分もあると思っておりますので、地域全体の交通計画と交通利便の向上については、当社も真摯に取り組んでいきたいと思っております。またいろいろなところで協力を仰ぎながら計画を進めてまいりたいと思っております。

(委員) 春の入学、転入、転職の時期に市と交通事業者さんが一緒になって、プロモーションをする形でやっていかれたらいいのではないかと思います。毎年、春と秋の交通安全の時期とかに必ず恒例事業としてやるのがいいのではないのでしょうか。高齢者の免許返納と合わせて、バスやタクシーの利用促進で連携するなど、まちに定着するような形でもっていただけたいと思います。また自転車を活用してうまく移動できるような環境づくりも大切になってくるかと思います。端末交通のバスや鉄道を支えるネットワークを作っていけるかと思うので、自転車を上手に使っていくという形を少し視野にいれるといいと思います。

(事務局) 高齢者への利用促進として、「えきバスまっぷ。」の配布も福祉部局と連携して広げているところです。自転車についても、公共交通機関だけでなく、バス、自転車も1つのモビリティになると思います。まだ、具体的に案はありませんが、勉強させていただきながら広げていけたらと思っております。

(議長) 　例えば4月の入学シーズンなどの節目に定期券を売りにいきたいと思いますというような話もあったと思いますが、体制や事業者との調整とかもあると思います。一度、御検討いただければと思います。

(委員) 　福祉タクシーチケットの配布という施策の平成28年度の実施内容に「一般の交通機関の利用が困難な在宅の高齢者や障害のある人について、自宅と医療機関等を結ぶ移動手段として福祉タクシーを利用した際、タクシー料金が助成される福祉タクシー利用券を発行」と書いてありますが、障害があつて市の福祉課から、このチケットをもらえば、特に福祉タクシー利用あるいは自宅から医療機関等と書いてなくても、移動手段として助成されるチケットについては、全ての一般タクシーも利用できるということではないでしょうか。

　高齢者運転免許返納割引の施策のうち、タクシーのところを見ると、「各社で実施」と書いてありますが、65歳以上で免許を返納した方はタクシー利用のときに1割引ということで行政のほうから認可を受けた事業者のみということになっておりますから、ここは「各社で実施」というのは認可を受けた事業社に免許返納したという証明書を見せれば、タクシー料金の1割引とこういうことになっております。

(事務局) 　御指摘のとおりだと思います。そういう認識で進めていきたいと思っております。

(議長) 　タクシー事業者さんとも、できるだけ確認をして、まとめていただければありがたいと思います。

・報告第2号 平成29年度さくらやまなみバス事業について

事務局より平成29年度さくらやまなみバス事業について説明。

(議長) さくらやまなみバス利用者は着実にふえているが収支構造はちょっと難しいということですね。バス車両の更新はどのように考えられていますか。

(事務局) バスの車両は、現在8台所有をしております。平成20年度に7台、平成21年度に1台購入しており、現在で8年から9年経っています。阪急バスとも協議・調整をしている中で、整備をすれば、15年程度はもつだろうと言われておりますので、あと6年程度はもつだろうと思っております。購入については、ノンステップバスやハイブリッドバスを計画したいと思っており、1台当たり3千万円程度はかかってくると思います。財源確保も含めながら検討もしていきたいと思っております。

(議長) 行政は複式簿記ではないので、予算化について事前準備しておかないと、いきなり費用が上がってしまうということになりかねないので、そのあたり考えておかないといけないと感じました。

利用促進に励むという話もありましたが、利用者がさらに増えるような仕組みづくり、あるいは、地域の方に御協力いただいて、まずは乗ってもらうことを中心に活動を進めていただければありがたいと思います。

・報告第3号 さくらやまなみバス運行計画一部変更について

事務局よりさくらやまなみバス運行計画の一部変更について説明。

(議長) 運賃が下がる、停車するところが増える、サービスが上がるというような感じがします。
また利用者の声などについても、紹介いただければと思います。

(2) 協議事項

・議案第1号 平成30年度西宮市都市交通会議の事業計画及び当初予算について

事務局より平成30年度西宮市都市交通会議の事業計画及び当初予算について説明。

(議長) 　　例えば4月に入学時のときに、モビリティマネジメントについての会議を開催しようとなった場合、この事業計画にはあがっていませんが、対応は十分可能な状況だと理解してよろしいですか。

(事務局) 　事業計画はあくまで、現在の見込になっておりますので、必要に応じて開催については検討していきたいと思っております。情報共有ができるような事項がありましたら、開催させていただきたいと思っております。

(議長) 　　できるだけこういう会議も密にやって、顔合わせと色々な情報をお互いに共有できることがあるかと思っておりますので、手間暇惜しまず、ぜひ続けていただけたらありがたいと思います。

　　30年度の事業計画と当初予算につきまして、御承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(全委員) 　異議なし。

(議長) 　　議案第1号は原案のとおり承認されました。

以 上